


Believe


**those who are seeking the truth;
doubt those who
find it.**

truth!






明かりを…



…もう行ったぞ
大丈夫か？

っ



点けるなっ！



えっ？

そのままでもいい

眼帯…
付けてないから…

眼帯？
怪我してんのか？

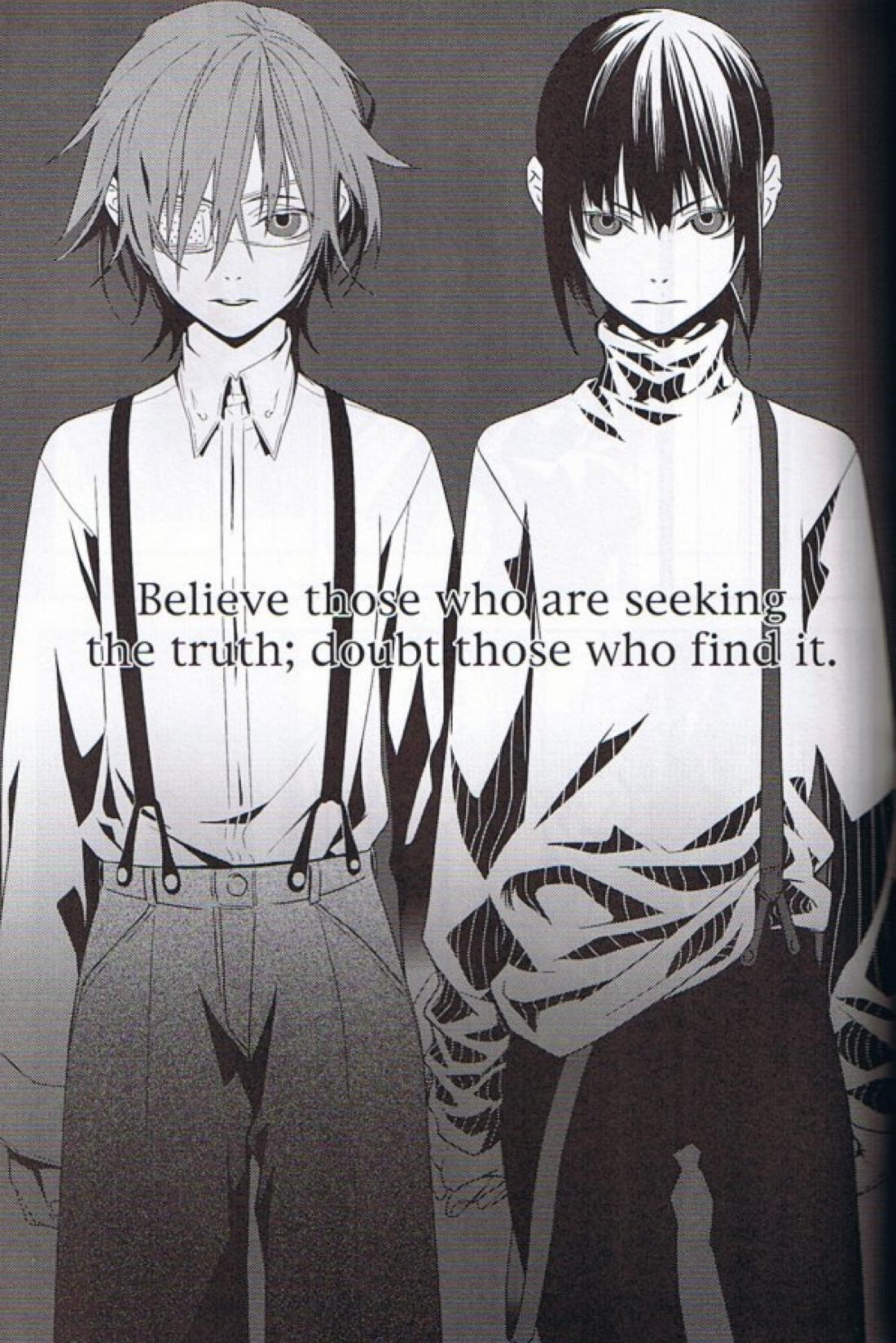


ア…

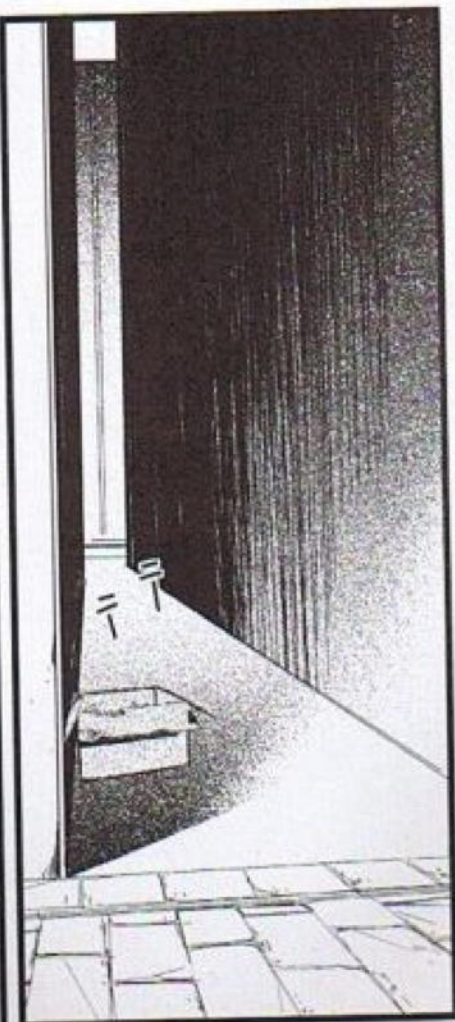
見せてみる

おらって!

やめ…



Believe those who are seeking
the truth; doubt those who find it.









生きるって
 決めたら食うし
 生きたくないなら
 最初から食わねーさ



こいつらだって
 馬鹿じゃない



そういうのを
 余計な世話
 つつーんだ




んな大げさな
 こいつらにとつちや
 運良くご飯が空から
 降ってきたような
 もんだって




キョウ




ふ




気休めも
気まぐれも
俺は好き
だけどなあ




大義名分の必要ない
突発的行動って
よくね？




その気まぐれに
付き合わされる方は
たまったもんじゃ
ねえんだよ



いもつともで…



テメーみたいなのがその
突発的行動とやらで
早死にするんだ



ユウは頑固通して
死ぬタイプさね



あんな小っせー体で
戦ってるあいつらに
なんか親近感わく
っていうかさ



まあでも
アレさ

俺らもどっちかって
いうと意地で生き延び
なきゃいけない訳じゃん？
やることあるし



明日も生き延びるか
ジ・エンドか

たったこれだけの事が
運命の分岐点になるなら
切っ掛けくらい
置いていってやっても
いいんじゃないか？



ユウはさく
物理的な事と精神的な事を
ごっちゃにして考えるから
ややこしくなるんさ



小さな戦友にさ

それはそれ
これはこれ

切っ掛けと手段と
目的は別

結局命そのものは
共有なんて出来ない
んだからさ

責任感じるのも
勝手だけどね

そゆとこ優しい
つか義理堅いつての？
ユウは

でも頑固すぎる
のは可愛くないぜ

たまには
無償の愛とか
信じてみ？

よへんじ

そういうのを一番信じてないくせに

お前は
干渉しないんじゃないか
なかったのか



そごさね...

あー...

…めんどくせー
から内緒な？

俺はお前の
監視役じゃねえ



...



馬鹿が

獣だって敵味方を
区別するのに



よしよしちつとは
満たされたかあ？



お
食べ終わったん？



責任を感じるのは勝手だけど
情を抱かれるのだから一方的で

それを知らない訳ではないだろうに



イライラする



もう気は
済んだだろう
行くぞ

あッ
待って待って
こいつら箱に
戻さんと



おいしい
ユウってば
待ってよ

大声で名前を
呼ぶなッ!!



付き合ってくれて
あんがとな

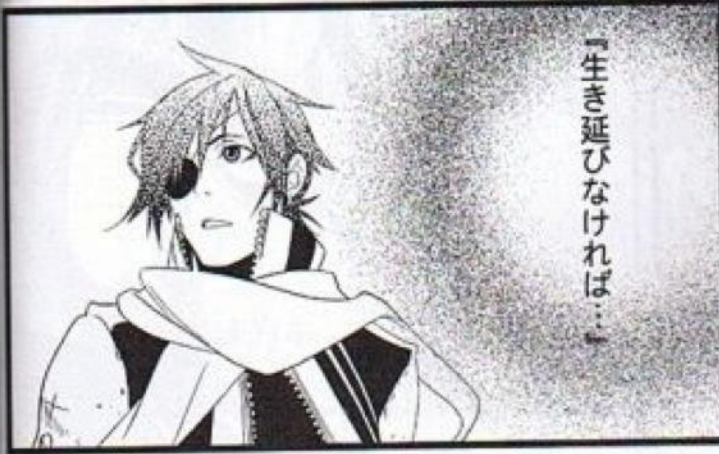


今度フラフラ
しやがったら
縄で括って
引き摺って
歩くからな

え
それはチョット…

皆自分勝手なだけだ

己の無力さに絶望するのも



「生き延びなければ……」



しかし選択肢は ない



お

まえね……っ

何も禁書庫で



お前が入れたんだろ
俺が知るか

そ
だけど…



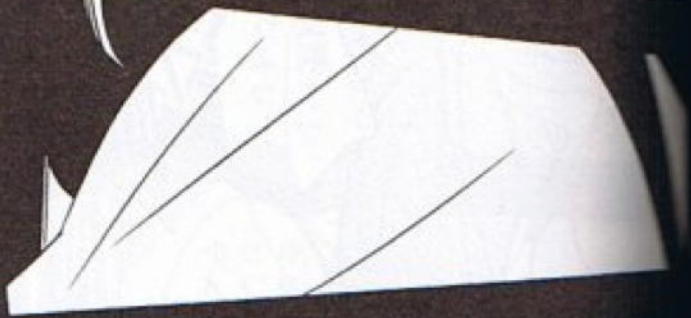
っーか、入っちゃ

いけねえんだぞホント

は…っ



んん…っ



っあ…ッ!



そうか?

3日カンツメで
疲れてんだけど…





どうせ
眠れねえんだろ



ちよっ…
反則…ツ

テメエが眠れねえ
つつーから付き合っ
やってんだろが

え…
そうなん…っ？

あつう…っ



オラ
集中しろ

うわっ…



ヒ…ツ!?

はっあ

あ、んん…っ

ゆ…うッ

あっあ…う

あ…っ

…入れるぞ

え

ちよ
まだ…

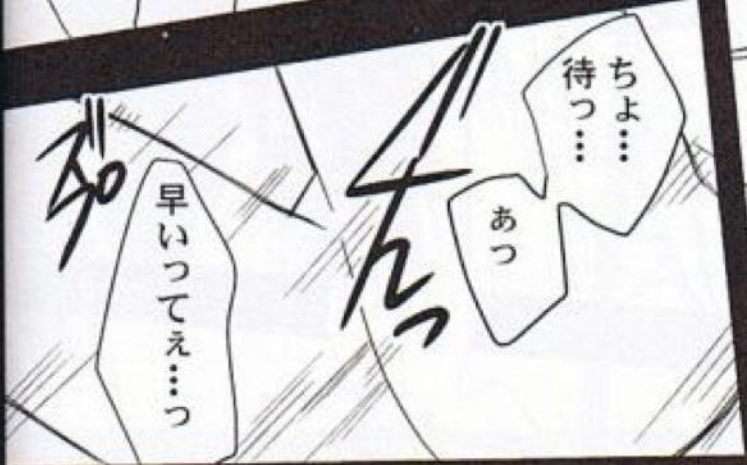
るせえ





ちつとは
労れつて…

は…
おま…



ちよ…
待つ…

あっ

早いつてえ…つ



うつく…つ

ツ…ツ
テメ…



ばっ…
痕つけんな…つ

は、あつ…!



いッ…つあ、あ…!!

お前は
いいのかよ

ユウ

は痕残んねー
じゃん…

…コロスぞ

そりゃ…

困…っん

俺もなんかオブション
付けようかなあ

ユウみたいのじゃなくて
出来るだけ細く長く
生きられるような

アホか

俺慎重派だもん
：なんか今日
機嫌悪イね

千ッ
ツメが甘えんだよ
ここの連中は

アクマなんぞに易々と
侵入許しやがって

あー部屋ちよっと
壊されたしなあ

前例なかったし
仕方ないさ

今回の想定外
不可抗力

まあそれも最初から
仕組まれていた
罠にまんまと
嵌った訳だけど

けれど標的も
無差別的なものではなく
最初から教団関係者を
狙ったものだった
としたら

否
彼奴だったから
としたら

こんな腐った世界は
俺達が塗り替えてやるさ

世界には絶望の
風が吹いている

お前もだ
なに苛ついてやがる

え？

あの使い魔
生け捕りに
するんだったな
捨て駒にしても
わざわざ
あんな形で
教団内部に
乗り込むなんて

もしそうだとしたら もっ…

俺には偉そうな事
言つといて
責任なんて感じて
んじゃねえだろうな

じゃあ
何を恐れている

…そんな
じゃねーさ

な…に…

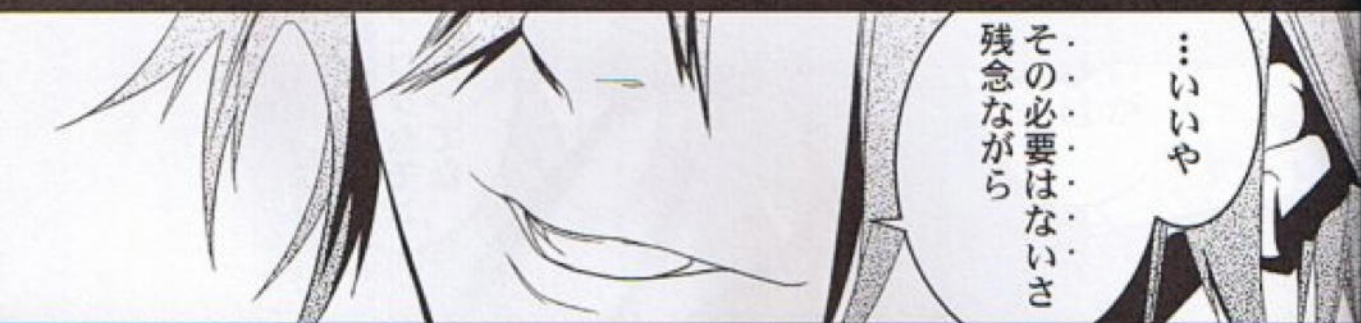
お前は何を知っている
ブックマン Jr.

あの目ここで
お前はなに

ユウ!



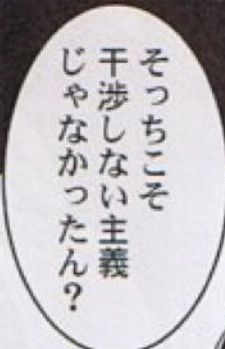
こんなやり方で
丸め込んだつもりか



…いいや

その必要はないさ
残念ながら

『暗黙の存在』



そっちこそ
干渉しない主義
じゃなかったん？

大概矛盾している
無意味な関係なのに
今更何の確認だ

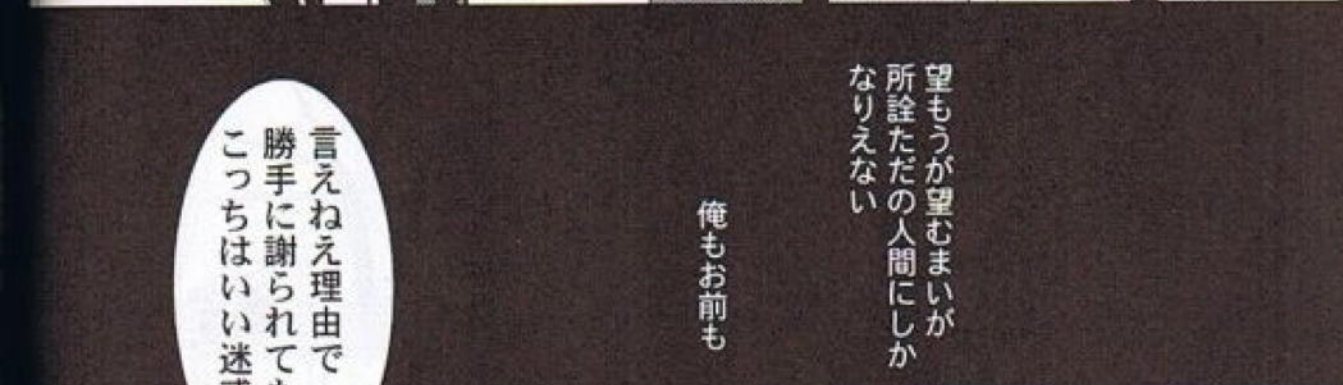


ごめんね？

痕跡は消えても
見えない傷は残る



やっぱりユウは
優しいさ



望もうが望むまいが
所詮ただの人間にしかな
りえない

俺もお前も

言えねえ理由で
勝手に謝られても
こっちはいい迷惑だ



…真実を語る奴
なんてロクなモン
じゃねえってな



それでも無力なだけの
仔猫とは違う

俺の持論

あの少年とは
特別親しいのかい？

あんまり見せつけなくて
欲しいなあ
俺だってラビの事
愛してるのに

先日の贈り物は
お気に召さなかったか？

アンタらは随分気に入ったみたいだな

それはもう

美しい戦いだっただけに心躍ったよ
親しい仲間を何の躊躇いもなく

Jr.が殺れるか賭けをしてたんだよね
いやお見事

くそっ最悪だ……!!

あれは兵器だ
ダグじゃない……っ

ああ失礼
仲間なんかじゃなかったな

勝手に仲間意識持って引き込もうとするなんて全く傍迷惑な連中だよな

その居心地の悪い場所から連れ出してあげるは今すぐに

遺伝子の契約において

歓迎しますよ
ブックマン Jr.


ハハ…
…そこが安住の地
だとも？

今はまだ
時ではないと？


最初から俺らに
そんなものはないし
俺は次期ブックマンだ
どこにしよう
ブックマンの任を全うする

それだけだ

そうでなくとも
エスコートの相手
くらい選ぶさ



自慢じゃないけど
振られたのは
初めてだなあ



しかし運命は
変えられない
全く可哀想に


同情するよ

恨むなら
先々代を恨むんだね



消えねえ…

もはや残された時間も手段もないのだ



潮時か…

必要なのは気まぐれな救い手でも優しい理由でもなく

なにものにも揺るがない強さ



どうも。ラビスキーです。2冊目のログレ本をお手に取って頂き有り難うございました。
1冊目と同時発行になっているはずなのですがすいません。

神ラビです。ラビラビ言い始めて1年以上経ってやっと形にする事が出来ました。

これからじっくり過ったり過去から未来まで妄想していきますのでどうぞ宜しくお願い致します(アンタ...)

今回は時間的には小説版「四十九番目の名前」前後です。なのでアレンはまだ出てません。

この本からちょこっと捏造設定出しますが詳しくは次回からという事で...

神ラビは恋愛に行きにくいです私の場合。

ラビは身の上からして常に受け身でいるしかない人(そして流す人のイメージだし、神田はとても芯が強い人

だと思っ。少し細らく事があるても丸め込まれる事はない。そんな人。悪く言えば頑固。

もし志半ばで倒れたとしても俺は死なねえー！って死んだ事に気付かないまま戦い続けるよっな...

原作...うっ...(涙)





どちらかという包容力がありそう（土壇場で肝が据わってそんな人）とかあまり攻める方に固執しなさそうな人を受にする質なのでアレンより神田よりやはりラビです。理想の人です。神

田が自分を抱けと言ったら夕ちに回るかなという感じ（笑）そういう意味ではリバかもしれない。

いつか言わせてみたい気もしなくもない（笑）アレンは：無敵。うん。黒アレン相手だとテキキだって

師匠だって受になってしまいうくらいには無敵。通常モードでも紳士だけど押しが強い感じに無敵。

可愛らしいフリしても押しが強いので無敵。あとリナラビも好きです。リナリーは全部分かってて

ラビも『自分の世界』の一人に入れてるんだろなあ。リナリーは母性の人。リナリーがハートの

イノセンス持ち主だったらいいなあ。最近の原作はもう可哀想で：守りたいのに無力な自分が

嫌だろなリナリーは。あーまた髪ロングにならないかな！。

ラビ受でどれが一番好きかと言ったらアレラビ：かな！：それぞれ皆形が違うのでどれもオイシイんですけども（笑）

とまあ色々描きましたが原作が現在進行形なので今後設定も流れもどうひっくり返るかもわからないし

、まあぼちぼち妄想を形に出来たらいいよね！という訳で。あ、西洋背景描くの楽しかったです。今まで描く機会が

なかったの。時間なさ過ぎてボロボロですが：本作るならどう頑張ってもせめて2週間は必要だと痛感しました。

とりあえず時間には余裕を持って。それでは今回はこの辺で。ご縁がありましたらまた！

